

怒りの目にあまるJR当局の不法・不当

ストライキにたとう

11.20
11.20
ストライキ

まじりこめ

まじりこめ あきらめない闘い

動労千葉は、十一月十一日第
2回執行委員会を開催し、J
R当局の目に余る理不尽、不当
な攻撃をうち破る為に組織の総
力をあげてストライキに立ちあ

がることを決定した。
11・20、第1波ストを突
破口に秋から冬に全組合員は、
総決起しよう。

闘いの課題・目標

1 士職への差別、選別登
用を許すな! 全ての強制
配転者を原職に戻せ。

とて組織的動揺を狙った悪質な
組織破壊である。

加えて、強制配転者「とりわ

け「旧人活センター」配属者」

の原職復帰要求に対しては、「

旧人活センター」は勤務成績が悪

い」と言いなしその根拠をただ

すと回答に詰まり苦しませられ

に「そんなこと自分で考えろ」

と傲慢な態度で開き直っている

のである。

当局の言語同断な態度を許さ

ず断固たたかひぬこう。



2 安全切り捨て、組合つ
ぶしを優先するJR弾劾、
反合・運転保安確立! 不
当処分策動粉砕

めにたたかひぬこう。
2 事故当該者、津田沼・千
葉転両支部長への重処分策動粉
砕。

1 十・二四習志野電車区事
故については、日刊で暴露して
きたとおり、その原因は、構内
作業の合理化、津田沼七〇仕業
の作業時間の短縮、構内踏み切
りの問題性等であり責任はJR
当局にあることを明確にしてき
た。

しかし、当局は、今回の事故

に限らず昨年十二月五日の東中

野事故にたいしても、今た原因

究明はおろか会社幹部は誰一人

責任も取らず逆に「マスコミで

批判されたから責任ははたした」

と居なおっているのである。

又、「九〇・三」ダイヤ改で事故

や故障に直結する交換回帰のう

ちのキロタイプの廃止、検修大

合理化を狙っている。

労働者への事故責任転嫁を許

さず、反合・運転保安確立のた

日刊で既報のとおり、当局は
「動労千葉がいるから事故が起
きる」などと、とんでもないが
かりをつけ事故を逆用し、動労
千葉の拠点破壊に乗り出してい
る。我々は一切の降格、処分を
許さない。
不当処分粉砕は、十一月闘争
の中心課題である。

3 清算事業団闘争の勝利を
かちとるための闘い。

十一・二〇ストを突破口とす

る秋から冬の闘いは、清算事業

団闘争の展望のかかった闘いで

もある。

十一・二〇ストライキを

ぬき中央公園の総決起集会に結

集しよう。

11.20

スト対象者

直営店配属組合員

★当局の「士職登用」、処
分動向いかにて2波3波スト入